

■ シリーズ医療人⑧	・・・ p 2
■ 峡南医療センター企業団の 「介護老人保健施設」のご紹介	・・・ p 3
■ 新任医師紹介	・・・ p 4

峡南医療センターだより



ケアセンターいちかわに満開の桜の花が咲きました！

通所リハビリテーションで、制作した桜です。花びら一枚一枚を、スポンジでペタペタと表現しました。送迎の車中では、利用者さまの思い出話に花が咲き、皆さまの言葉一言一言が勉強になり、人生の先輩方の『偉大さ』を実感します。

利用者さまが詠んだこの一句のような時間を提供出来ますように、また安心して、穏やかに、健やかに過ごしていただけるように、職員一同いつも笑顔で寄り添っていきたいと思います。



住民の皆さんに峡南医療センターを身近に感じていただきたく、現場で働く職員を紹介しています。

第8回目はケアセンターいちかわから、主任看護師の高石麻実さんです。

インタビュアーは、主任介護福祉士の井上智英さんです。

Q 看護師という職業を選んだ理由を教えてください。

A 4～5歳の頃に大好きで観ていたアニメ「キャンディ・キャンディ」の主人公キャンディが看護師になった事がきっかけです。

Q 看護師というと病院にいるイメージが強いですが、老人保健施設（老健）の看護師さんの役割を教えてください。

A 治療優先の病院と違い、生活主体の老健看護師の主な役割は、利用者様の体調管理と異常の早期発見、予防的な観点でフィジカルアセスメント※¹をしていく事。介護業務もします。

Q 仕事をするうえで、心掛けていることはどんなことですか？

A 明るく笑顔でいる事と、「報・連・相」※²

Q ケアセンターいちかわの雰囲気はどんな感じですか？

A 良い意味で看護師と介護士の業務が分かれている部分があるので、働きやすいです。

Q 仕事でのストレスは、どんなふうに取り除けていますか？

A おいしいものを食べる事。よくしゃべる事。

Q どんなふう乗り越えてきましたか？
また、後輩へアドバイスはありますか？

A 一番は、家族の理解と協力です。その次は家事をうまく手抜きすることかな！

Q 休日の過ごし方を教えてください。

A 基本は午前中は家事、午後はゴロゴロ。休みが合えば、家族と出掛けたり、友達とランチを楽しみます。



Q 峡南医療センターや、ケアセンターいちかわのこと、ご自分のことでもよいので、自慢できることをアピールしてください。

A 私は同センターのサンビューふじかわに開設から15年間、お世話になりました。1年程前に人事異動でケアセンターに来ました。最初は一人で不安で辛かったです。今は、信頼できる仲間も増えて、やりがいも感じている自分を自慢したいです（笑）。



※¹ フィジカルアセスメント

患者さんとの対話を通してどのような病気がひそんでいるかを考え、心臓の音や呼吸音を聴診器で聴いたり、お腹を触ってみて早期診断に結び付ける。

※² 「報・連・相」（ほう・れん・そう）

報告、連絡、相談のことで、看護師と介護士がチームを作って入居者さまを看ていく時に変化に応じて情報を共有することが大切だということです。



峡南医療センター企業団の「介護老人保健施設」のご紹介

ケアセンターいちかわ サンビューふじかわ

両施設とも、病院併設型老健というメリットを活かし、施設間で連携しながら、質の高い介護・医療を提供します。また、通所・入所を問わず、リハビリ機能の強化により、高齢者の自立を支援し、在宅復帰を推進しております。

☆入所サービス☆

病状が安定している方が、リハビリ・看護・介護を中心に楽しく、安全・安心に生活していただけます。

☆短期入所療養介護☆ (ショートステイ)

ご家族の急な用事や休養したい時、ご本人の健康管理や、リハビリができるよう、短期にご利用いただけます。

☆通所リハビリ ステーション☆ (デイケア)

入浴・食事・リハビリ・レクリエーション等で、楽しく時間を過ごすことが出来ます。
在宅生活を支援させていただきます。

老健でのリハビリについて

長期入所中は、身体・認知機能訓練や日常生活動作訓練を行い、在宅復帰を目指しています。

短期入所療養介護（ショートステイ）中は、家庭との環境の違いから、部屋に閉じこもらないように連れ出し、短期入所中の体力・筋力・認知機能の低下予防・向上を図っています。

通所リハビリテーションでは、在宅での生活上の困り事をリハビリの視点から解決できることは改善していきます。病院に併設しているメリットがあり、介護度の軽い方から医療依存度が高い方（胃瘻・在宅酸素・難病等）までのリハビリ・ケアを行っています。

3つのサービスの共通点は、「快適」にそして「自主性」を持って生活することを大切にしていることです。



お気軽にご相談ください・・・

各施設の介護支援専門員や相談員が対応させていただきます。まずは、お電話ください。

サンビューふじかわ TEL 0556-22-7301 ケアセンターいちかわ TEL 055-272-5121

慢性腎臓病予防教室 開催しました。

今年で2回目となる慢性腎臓病についての市民講座を開催しました。

腎臓病は「新たな国民病」と言われるほど、身近な病気となっています。

腎臓病の病態と予防、薬の服用の注意、腎臓病食の試食、日常生活の注意点、認知症予防のエクササイズなどをどなたにも分かって頂くようにご説明致しました。



講師は、富士川病院の若手スタッフ（医師、保健師、薬剤師、検査技師、栄養士、理学療法士）と外部講師が3日間に分けて各分野を担当いたしました。

健康教室開催についてご要望があれば富士川病院地域連携室までご連絡ください。

「相談室」から年金のお話 <その4>

今回は遺族年金についてです。

遺族年金とは、年金加入中の被保険者が死亡した時に遺族が受け取れる年金です。加入していた年金の種類により「遺族基礎年金」「遺族厚生年金」に大きく分けられます。年金加入期間の2/3以上の保険料納付期間が必要です。

遺族年金を受給できる遺族は、基礎年金の場合は子のある配偶者と子です。ここで言う子とは、18歳になった年度末(3月31日)までの者、または、20歳未満で1～2級の障害者の事を言います。また、子のある配偶者の年収が850万円未満である事も条件となっています。厚生年金の場合は死亡した者によって生計を維持されていた妻、55歳以上の夫、子、孫、父母、祖父母も受給対象となります。

受け取れる金額は、基礎年金の場合、年額780,100円に子の数で金額が加算されます。子供2人までは、1人につき224,500円加算、3人目以降は1人74,800円が加算されます。遺族が子だけの場合は、子1人なら780,100円、2人の時は224,500円加算、3人目以降は74,800円が加算されます。厚生年金の場合、標準報酬月額で決まり、年収500万円の方の遺族で、年額約490,000円です。子がある配偶者は、基礎年金と厚生年金を併せて受け取れます。

以上が遺族年金の概要になりますが、その他で不明な事があれば、富士川病院相談室までお問い合わせ下さい。

新任医師紹介

どうぞよろしく願いいたします。



着任日 平成28年11月1日
診療科 外科
職氏名 主任医長 須貝 英光
出身大学 山梨医科大学 医学部
卒業年度 平成5年3月卒業
専門領域 一般外科、消化器外科
(上部消化管)

診療モットー

患者さんひとりひとりが安心して受けられる診療を心がけています。



着任日 平成28年7月1日
診療科 小児科
職氏名 医長 望月 美恵
出身大学 山形大学 医学部
卒業年度 平成6年3月卒業
専門領域 小児内分泌・糖尿病

診療モットー

お子さんの健やかな成長をサポートできたらと思っています。



着任日 平成28年12月12日
診療科 小児科
職氏名 医師 村松明日香
出身大学 山梨大学 医学部
卒業年度 平成21年3月卒業
専門領域 小児神経

診療モットー

日常診療を通じて、お子様の健康を守り健やかな成長の支えになれるよう頑張ります。



峡南医療センターだよりをご覧いただきありがとうございました。
暖かく過ごしやすい時期を迎えますが花粉症の方には辛い時期になります。
新入学、進学、就職等、新たな生活が始まる時期でもあります。
健康にご留意され明るく、健康な新年度をお迎えください。

編集委員一同